

平成 30 年 2 月 8 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文  
 (コード番号 4722 東証第一部 )  
 問合せ先 執行役員 中島 由彦  
 (TEL (03) 5740 - 5724 )

## 平成 29 年 12 月期連結業績のお知らせ

### 1. 平成 29 年 12 月期連結業績について

当社グループの当連結会計年度（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の連結業績は、

売 上 高	36,265百万円	(前年同期比	7.8%増)
営 業 利 益	4,458百万円	(前年同期比	22.4%増)
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	3,743百万円	(前年同期比	69.5%増)

となりました。各セグメントの業績については以下のとおりです。

#### (1) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社は、アパレル、スーパー、新聞メディア及び自動車会社から、画像解析などAIやIoTの最新技術を利用した新規のプロジェクトを数多く開始したほか、首都圏を中心とする複数の銀行の営業支援・融資支援システムを新たに開始し、FXやネット証券のプロジェクトの売上也増加しました。一方で既存のプロジェクトが開発を完了したことにより、売上が前期比で減少しましたが、今期のプロジェクトの利益率が改善したことにより、営業利益は前期比で増加しました。

株式会社ワイ・ディ・シーは、製造業を中心にシステム開発の受託や自社製の品質情報統合解析ソフトウェア「YDC SONAR」の販売等が好調に推移し、売上高や営業利益は想定以上に増加しました。

FutureOne 株式会社は、自社製の販売管理パッケージをリニューアルしたことや、顧客のターゲットを売上 50 億円～100 億円の中堅企業にフォーカスしたことによりプロジェクトの受注が増加し、順調に開発が進捗したことから売上高・営業利益とも前年同期比で大幅に改善しました。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の知的財産管理ソフトウェアの新規顧客への導入や製造業の顧客のソフトウェア開発が増加し、売上・営業利益とも前年同期比で増

加しました。

この結果、本セグメントの売上高は29,739百万円(前年同期比19.9%増)、営業利益は4,777百万円(前年同期比22.7%増)となり、前年同期比で売上高及び営業利益が増加しました。

## (2) ビジネスイノベーション事業

東京カレンダー株式会社は、コンテンツを30代から40代のライフスタイルストーリーにフォーカスし、自社内でスピーディに動画を作成・公開する仕組みを強化したことから、PVやユーザー数が安定して増加するとともに、雑誌の販売数も第2四半期以降増加しました。これにより、ウェブと雑誌の双方で広告の売上が増加したため、売上高が前年同期比で20.2%増加し、初めての通期営業黒字を達成しました。平成29年3月末に買収したオンラインで婚活情報を提供するマッチアラム株式会社も東京カレンダー株式会社と連携することでユーザーを増やすとともに4月以降の累計で営業黒字となりました。

コードキャンプ株式会社は、オンラインでのプログラミング講座の受講者の継続的な拡大や転職希望者のためのエンジニア教育及びそれと連動した企業紹介プログラムの売上への貢献により前年同期比で売上高が43.4%増加しました。上半期は新規サービスの開発や広告宣伝費などへの先行投資により赤字が拡大しましたが、下半期から体制を見直したことにより、第4四半期は初めての四半期営業黒字を達成しました。

株式会社eSPORTSは、プライベートブランドのアウトドアやトレーニング用品の販売を中心に売上高は前年同期比で13.7%増加しましたが、夏季の天候不良の影響を受けた価格競争の激化が年末まで続いたことから、粗利率の低下が起こったほか、在庫の処分や評価減を行ったことで営業利益が減少しました。

この結果、本セグメントの売上高は6,774百万円(前年同期比17.6%増)、営業損失は363百万円(前年同期は391百万円の損失)となり、前年同期比で売上高が増加し、営業赤字幅は縮小しております。

(注) 上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

平成28年4月1日付で持株会社体制への移行により組織体制を整備したため、前第2四半期連結会計期間より、従来「ITコンサルティング事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益の調整額に費用として計上する方法に変更し、各グループ会社からの業務委託料やグループ成長支援料等をセグメント利益の調整額に収益として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間より、「ITコンサルティング事業」と「パッケージ&サービス事業」を1つのセグメントに集約し、セグメント名称を「ITコン

サルティング&サービス事業」に変更しております。なお、前年同期比については、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分及び測定方法に組み替えた上で比較を行っております。また、ニューメディア&ウェブサービス事業については、インキュベーションの対象会社が増加したことからビジネスイノベーション事業に名称を変更しました。

## 2. 次期の見通し

当社グループの平成30年12月期の連結業績は、

売上高	37,900百万円	(前年同期比	4.5%増)
営業利益	5,170百万円	(前年同期比	16.0%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,530百万円	(前年同期比	5.7%減)

を見込んでおります。

なお平成30年12月期の親会社株主に帰属する当期純利益は、平成29年12月期よりも5.7%減少する見通しであります。これは、平成29年12月期の同利益を押し上げた、有価証券売却益等の発生や債権に関する税務上の貸倒処理等による税負担の低下といった一時的な要因を見込んでいないことによります。

各セグメントの特記事項は次の通りです。

### (1) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社及びフューチャーインスペース株式会社は、次のような戦略を基本として、フューチャーグループ独自の付加価値の高いサービスを提供し、顧客のビジネスやITの改革に貢献することを目指しております。

- ・経営革新・業務改革・システム改革を三位一体として捉え、最新のIT技術やリアルタイムなデータ処理を可能にする自社製コンポーネント(Future Component)を活用することによって、グランドデザインから設計、開発、保守運用に至るまでの一貫したサービスを提供します。
- ・ブラックボックス化したレガシーシステムを科学的に分析し、最新のオープンシステムとして再構築する手法(Future Formula)を用いて顧客の複雑化、重層化した基幹システムを刷新します。
- ・独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法(Future Navi、Futurefraqta)を活用して、短期間で品質の高いシステム設計や開発を実現します。
- ・成長戦略の実現に向けてビジネスとITの両輪で長期的な戦略パートナーとして顧客へのCIO補佐等の人材提供やジョイントベンチャーの設立を行い、関係を強化します。

また、画像解析、需要予測、コスト削減などをAIやIoT等の最先端の技術により実現するプロジェクトを既に開始しておりますが、今後ともこれら最新技術の研究開発に注

力するとともに、研究成果を実際のプロジェクトに応用することにより顧客にニーズに応じてまいります。

平成 29 年中においては、新規顧客を中心に、複数のプロジェクトを開始しており、次期は、これら新規プロジェクトを上記の Future Navi、Futurefraqta といった科学的なプロジェクト運営・モニタリングシステムを活用して確実に完成させることを目指してまいります。

株式会社ワイ・ディ・シーは、AI、IoT 等の技術を適用した製造業向けの IT コンサルティングを展開するとともに、開発設計領域における業務改革コンサルティングに注力します。また、フューチャーグループ内での連携を本格化させて、グループ内の技術やサービスの融合を図ります。

FutureOne 株式会社は、リニューアルした自社製のパッケージソフトウェアの中堅企業からの受注の増加を図るため、外部販売パートナー会社との連携拡大を図りつつ、このパッケージを利用して中堅企業に対する業務改革コンサルティングを推進します。

さらに、幅広い顧客のニーズに対応するため、新設した「Strategy Innovation Group」により、「企業変革・事業創造」「グローバル市場開拓」「トータル・リスク・マネジメント」等の戦略コンサルティングサービスの提供を強化します。

## (2) ビジネスイノベーション事業

東京カレンダー株式会社は、4,700 万の月間ページビューや自社制作による質の高い動画広告による集客力・プロモーション力だけでなく、月刊誌、ウェブ、イベントといった複数のメディア力を活かして、広告収入の増加を図るとともに、オンラインで婚活情報を提供するマッチアラム株式会社との連携したサービス等の提供を強化してまいります。さらに、今後は累積していく顧客の行動データを基に、フューチャーグループの IT テクノロジーを活用して、マーケティングプラットフォームの構築を目指してまいります。

コードキャンプ株式会社は、法人向けのオンライン・オフラインのプログラミング教育やスキルアップのためのプログラミング教育と連動した転職先紹介のサービスの一層の拡大に注力し、さらに子供向けのプログラミング教育も充実させていくことで、通期の営業黒字化を目標としてまいります。

株式会社 eSPORTS は、季節や天候に左右されにくいカジュアルスポーツ商品やユニークな PB 商品の品揃えの充実を図ります。また、フューチャーグループのテクノロジーを活用して、価格や売れ筋の調査・分析の充実やカスタマー対応の進化を図るとともに、東京カレンダー株式会社との連携等により、顧客ロイヤリティ向上を図り、自社 EC サイトでの売上の増大を目指してまいります。

なお、平成30年12月期の配当は、1株当たり28円の普通配当（中間配当14円、期末配当14円）を予定しております。

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 IR担当 中島

IR直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：[ir@future.co.jp](mailto:ir@future.co.jp)